

旧安瀬神社奉納物について

The votive offerings of the former Yasosuke Shrine,
in Ishikari City, Hokkaido, Japan

坂本 恵衣*

Kei SAKAMOTO*

キーワード：厚田，安瀬，奉納物，絵馬，棟札

1. はじめに

本文では2017（平成29）年にいしかり砂丘の風資料館に寄贈された，旧安瀬神社奉納物について紹介する。「安瀬」は現在の石狩市厚田区に所在する地名である。

石狩市厚田区は，石狩市の中部に位置する。厚田は，7000年程前から人が住み始めたとされる住居跡や石器，土器が見つかる。近世から近代にかけては鯿等の漁場として栄え，江戸時代には松前藩によって，アツタ場所が開かれていた。1869（明治2）年に広域行政区画が置かれた際に，石狩国厚田郡となり，1902（明治35）年の二級町村制施行で厚田村となった。そして，平成17（2005）年に当時の石狩市，浜益村と合併し，現在の石狩市厚田区となった（石狩町編，1972；石狩町編，1985；谷内ほか，1969）。

安瀬は厚田区の北西部に位置する。安瀬は海岸が断崖絶壁という地形的特徴から不便も多く，安政年間に開削されて以降，人々が定住するようになったとされる（河野常吉ほか編，1987）明治初年から安瀬村と称する村であったが，1902（明治35）年に二級町村制施行後は厚田村内の字名となり，石狩市・厚田村・浜益村の合併後は現在の石狩市厚田区安瀬という地名となった（平凡社地方資料センター編，2003）。



図1. 安瀬神社所在地.

2. 旧安瀬神社について

安瀬神社は現在の北海道石狩市厚田区安瀬に所在した神社である（図1，表1）。1830（天保元）年に厚田場所請負人の平田與左右衛門によって創立されたとされる。当初は社格も定められておらず，1875（明治8）年に村社と公称するようになった。しかし，1911（明治44）年3月3日には合祀の出願がされ，1912（明治45）年2月3日付で厚田神社へ合祀された。合祀後公的な神社で

* いしかり砂丘の風資料館 〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4

表 1. 旧安瀬神社の情報.

名称	安瀬神社
所在地	石狩市厚田区安瀬9番地3
創祀年	1830(天保元)年
創立者(請願者)	平田與左右衛門(厚田場所請負人)
祭神	保食神
旧社格	村社
例祭日	8月15日
合祀日	1912(明治45)年2月3日
合祀先	厚田神社

(石狩市郷土研究会 石狩の碑厚田区編調査編集委員会, 2012; 北海道神社庁誌編輯委員会編, 1999)

なくなった後も未公認神社として2006(平成18)年まで地元住人の心のよりどころとして親しまれ、社殿も保全されていたが、現在は廃社となっている。

3. 旧安瀬神社奉納物

本文では合祀後も社殿や管理者であった中井照正氏の元で保存されていた安瀬神社の奉納物全7点を紹介する(表2)。安瀬神社の祭神であった保食神に関するご神体や祭祀に直接関わるものは

合祀に伴い厚田神社へと移されたため、安瀬神社に残されたものは絵馬や扁額を中心としたものである。なお手水鉢といった社殿の外に置かれたものは今回取り上げないものとする。また、同一種類の奉納物が複数存在するため、番号で区別し、表内では題材の特徴を記した。文字が記されているものはその読みを記載するが、判読不明箇所については■とした。

奉納物には奉納者の記載が確認できるものがあるが、安瀬村内での役割や安瀬神社との関連性は特定できていない。

表 2. 奉納物の計測値 (cm)

番号	資料名	題材	縦(高さ)	横(幅)	厚さ
(1)	棟札		94.4	29.3	1.1
(2)	絵馬①	人物二人	76.8	101.4	3.0
(3)	絵馬②	天狗他	66.4	121.5	3.0
(4)	絵馬③	白馬	31.5	39.8	3.0
(5)	扁額①	巖島郡	37.8	54.5	3.0
(6)	扁額②	豊玉神社	43.0	84.0	4.5
(7)	扁額③	皇室	64.8	49.4	3.2

(1) 棟札

棟札といわれるもので、建築物の創建・修理に際して、木札等に記録を残し、棟や梁に打ち付けたものである。この棟札は安瀬村で行われた遷宮の際のものである。なお、安瀬神社の遷宮に関しては、石狩市内で公的な記録は残されていない(写真1)。



写真1. 棟札. A: 表面, B: 裏面.



写真2. 絵馬①.



写真3. 絵馬②.



写真4. 絵馬③.

(2) 絵馬①

二人の人物が描かれた絵馬である。右の人物の胸部には源氏の家紋として知られる笹竜胆、左の人物の胸部には輪宝紋とみられる紋様が記されており、源義経と武蔵坊弁慶を描いたものと考えられる。枠には「明治十七年六月一日 献主池田米吉」と記されている（写真2）。

(3) 絵馬②

中心に一人の人物がおり、その周囲に四人の天狗が描かれている。中心の人物の左袖に笹竜胆の紋様が見えることから、牛若丸（源義経）と天狗の鞍馬山での一場面を描いたものと考えられる。中央上部に「前」という漢字が書かれているが、その前後が消えており判別することができない（写真3）。

(4) 絵馬③

富士山とみられる山を背景に大きく白馬が描かれた絵馬である。一部判別することができないが、「奉納 ■■■年 七月廿二日 ■■田宗吉」と記されている（写真4）。

(5) 扁額①

「巖島郡」と書かれた扁額である。裏面には「于時明治二十歳六月 願主 厚田郡安瀬村有者 平田福三郎 敬白」と記載されている（写真5）。



写真5. 扁額①. 上：表面, 下：裏面.

(6) 扁額②

「奉納 豊玉神社」と書かれた扁額である。左下に「大和喜代秋」と記されている。豊玉神社は豊玉姫を祀った神社の一つと考えられる。豊玉姫は海に関する神として知られており、同じく漁業で栄えた厚田地域、安瀬神社及び地域住民に信仰されたと推測される（写真6）。



写真6. 扁額②.

(7) 扁額③

皇室御尊影の一種と考えられる。判別可能な部分の文字を見ると上部が「一統御尊」下部が「■天皇■・泰宮内■・光宮■・皇太子殿下・皇太子妃殿下・常宮内親■」と記されている。枠には「明治三十八年六月二拾七日奉納 加藤長治郎」と記されている（写真7）。



写真7. 扁額③.

謝辞：本稿の執筆に伴い、奉納物の保存をされていた中井照正氏にご協力を賜りました。資料調査においては中井規雅氏、いしかり砂丘の風資料館の工藤義衛氏に大変ご協力とご指導をいただきました。末筆ではありますが、皆様に心より御礼申し上げます。

引用文献

平凡社地方資料センター編，2003. 北海道の地名，日本歴史地名大系第一巻，平凡社。
北海道神社庁誌編輯委員会編，1999. 北海道神社庁誌，北海道神社庁。
石狩町編，1972. 石狩町誌 上巻，石狩町。

石狩町編，1985，石狩町誌 中巻一，石狩町，
石狩市郷土研究会 石狩の碑厚田区編調査編集委員会，
2012，石狩の碑 厚田区編，石狩市郷土研究会，
河野常吉ほか編，1987，北海道殖民状況報文 石狩国，
北海道出版企画センター，
谷内鴻・藤村久和・鈴木藤吉・木滑二郎編，1969，厚
田村史，厚田村。